

在韓邦人のための
市民が行うMERS対策

防衛医科大学校 防衛医学研究センター
感染症疫学対策研究官 加來浩器(KAKU KOKI)

【韓国MERS感染】

隔離対象の夫婦がフィリピンへ出国 韓国、外交官に状況説明

 ツイート { 1,152 }  おすすめ { 1,265 }  +1 { 19 }

韓国で中東呼吸器症候群（MERS）コロナウイルスに感染した女性（72）と接触し自宅隔離対象とされた医師とその妻が、6日にフィリピンへ出国、7日に韓国へ帰国していたと韓国メディアが8日報じた。当局は6日に隔離対象だと伝えようとしたが、連絡が付かなかったという。

感染の疑いがある人物の出国を阻止できなかったことになる。保健当局は、携帯電話の電波の発信源を調べるなどして、隔離対象者の管理を強化すると表明した。

一方、韓国外務省は8日、ソウル駐在の各国外交官に感染状況を説明。朴槿恵大統領は同日、感染拡大を週内に止めるとの覚悟で総力を挙げるよう指示した。

【韓国MERS感染】

感染者が3病院360人と接触、「公表遅れが招いた」と政府批判

ツイート 78

おすすめ 15

g+1 0

韓国で中東呼吸器症候群（MERS）コロナウイルスに感染した南西部全羅北道の男性（59）が今月、症状が出た状態で4日間にわたり道内の3病院を訪れ、計約360人と接触した可能性があることが分かった。感染者が出た病院名の公表の遅れが招いた事態だとして、政府への批判が強まっている。

男性は5月末、親戚の見舞いのため、感染者が入院していたソウルのサムスンソウル病院を訪問。高熱が出て6月3日に全羅北道の病院で受診



マスク姿で登校する子どもたち=9日、ソウル市内（共同）

感染症疫学対策研究官 IDEAR

(Infectious Diseases Epidemiology Analysis & Response)

感染症を推理する。

感染症対策を実践する。



疾病探偵
Disease Detectives

研究テーマ “5つの感染症クライシス分野”

医療関連感染

- ・地域での感染症状況を見据えた医療施設での感染症対策

食の安心安全

- ・国内外の食品による健康被害

災害と感染

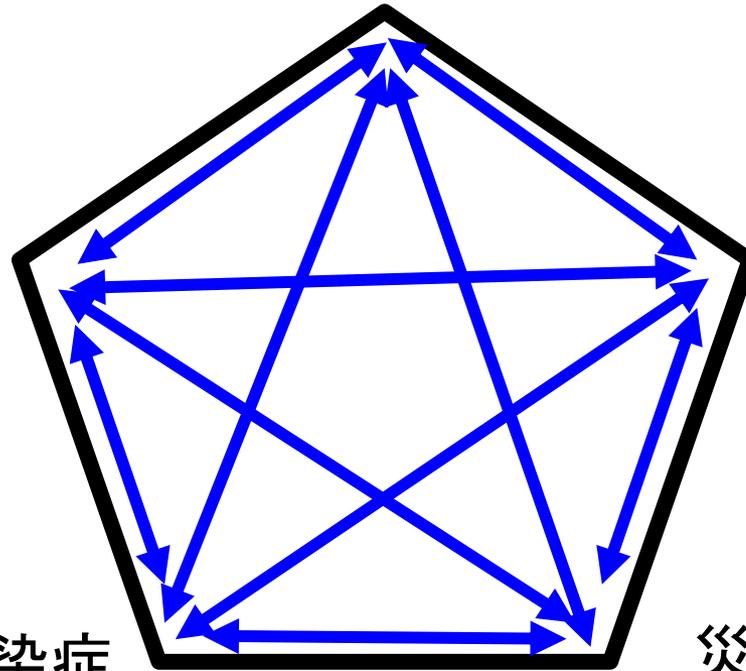
- ・大規模な自然災害、人為災害の後に問題となる感染症(バイオテロを含む)

輸入感染症

- ・海外で感染し、国内で発症する感染症

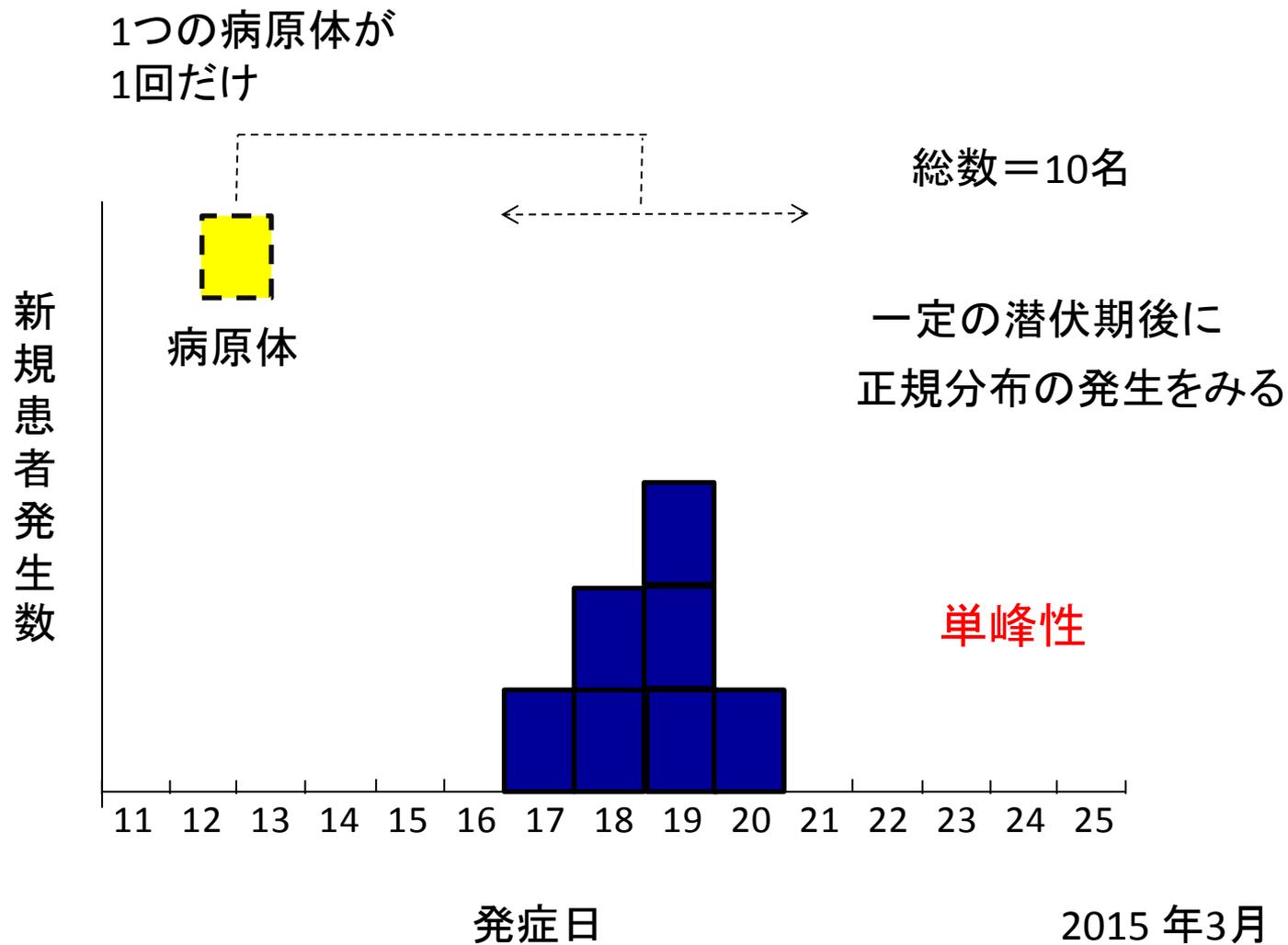
新興・再興感染症

- ・人類にとって初めての感染症
- ・再び猛威を振るようになった感染症



疫学の3要素(時、場所、ヒト)を基に事象を捉える

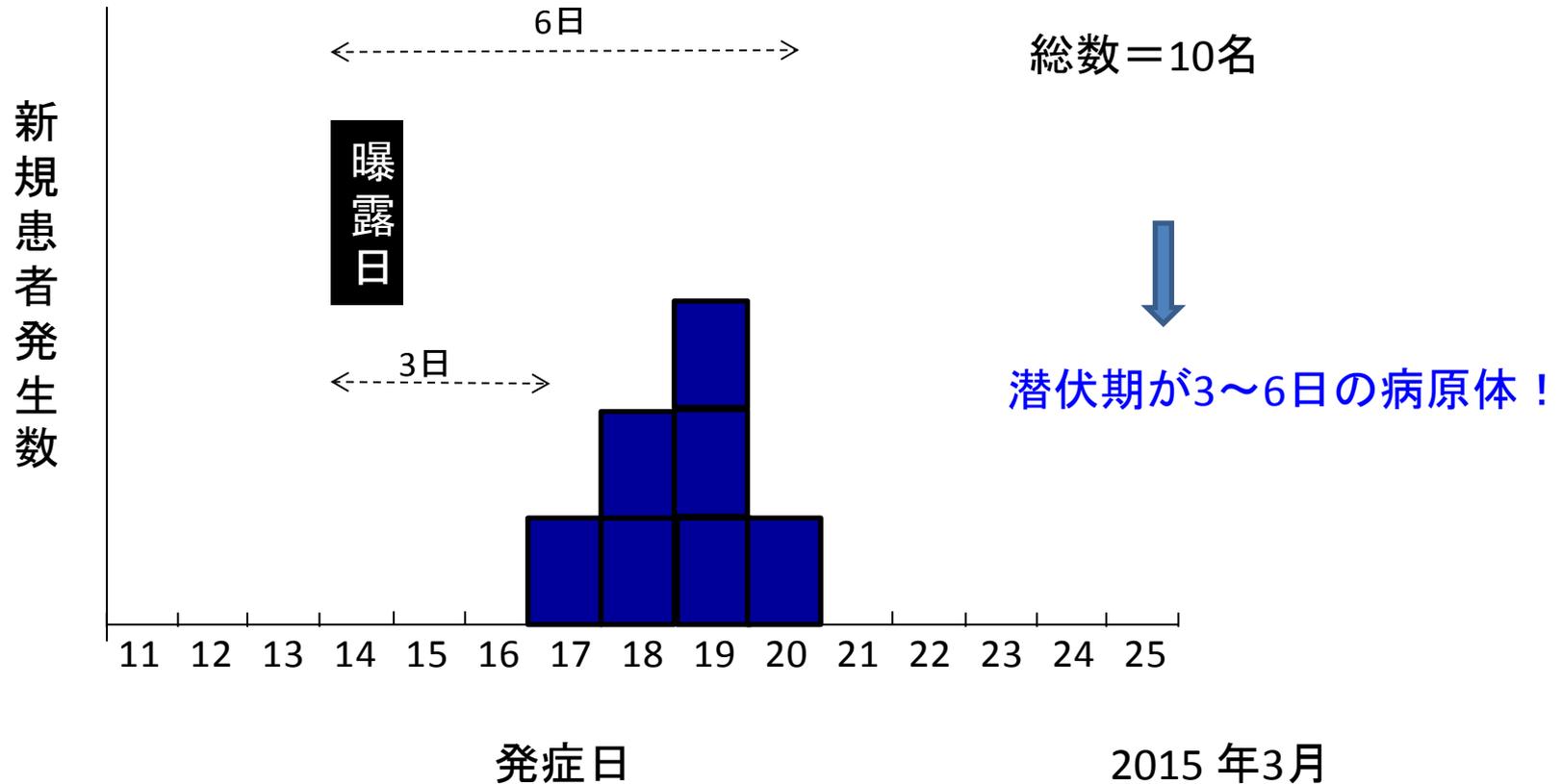
記述疫学(時)



単峰性 曝露状況が判明している場合

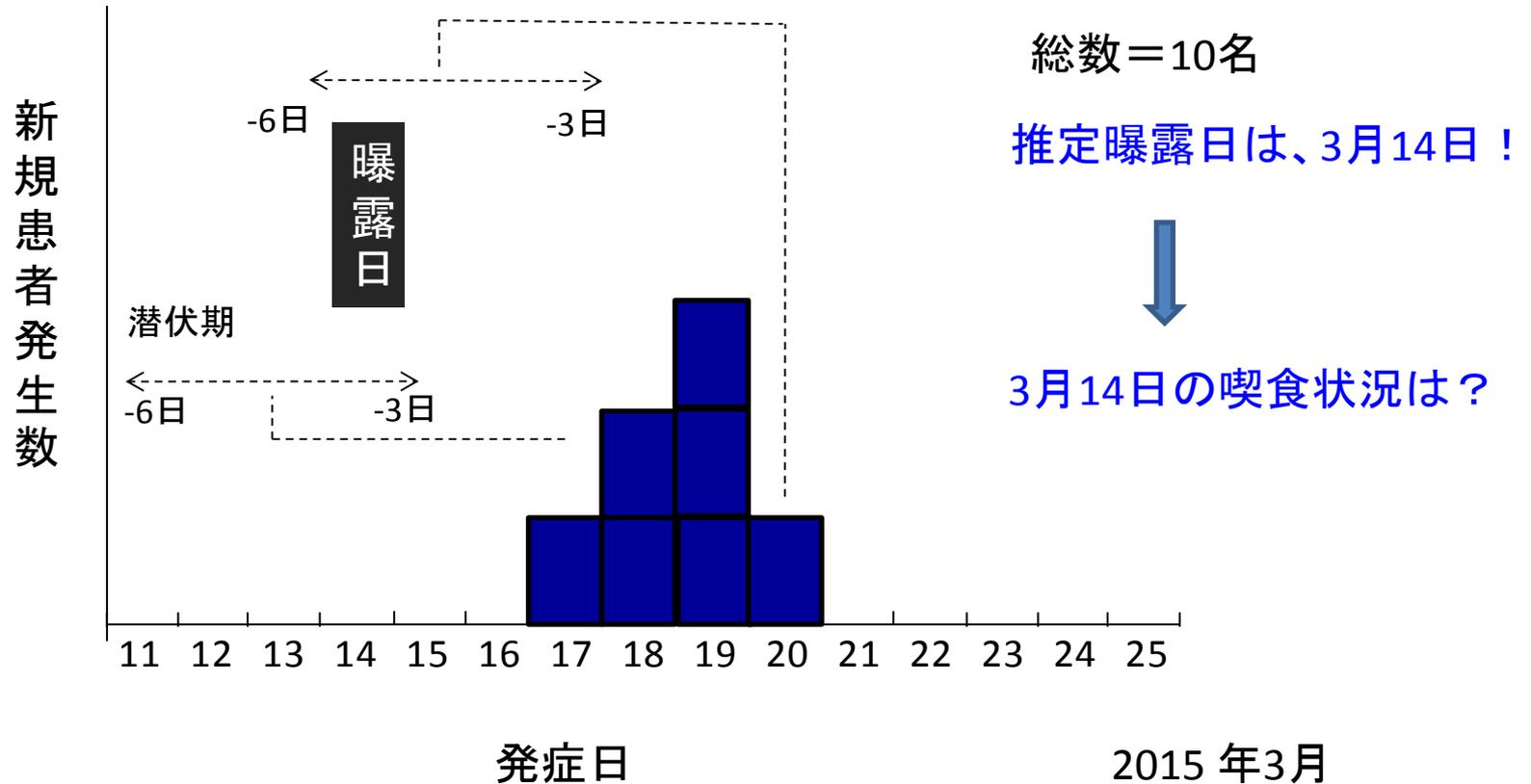
3月14日の講演会に参加した

臨床像: 発熱、腹痛、下痢(一部の者は血便)



単峰性 病原体が判明している場合

カンピロバクター胃腸炎(潜伏期:3~6日)が複数の医療機関から報告
患者間の共通性は不明



都内で発生した嘔吐・下痢症の発生状況 (患者の住所でマッピング)



都内で発生した嘔吐・下痢症の発生状況
(3月14日の昼の行動でマッピング)

住所でなく、3月14日の昼の行動に関連か？

3月14日の昼の行動での共通性を検討

「集団」の検討であるために可能



関東で発生したEHEC O157発生事例(通勤経路)



通勤経路上で曝露の可能性！

今回の韓国におけるMERSにおいても！

公表された情報を基に疫学解析を実施

韓国ラインリスト6.7 - Microsoft Excel

MS Pゴシック 11

標準 どちらでもない 悪い 良い

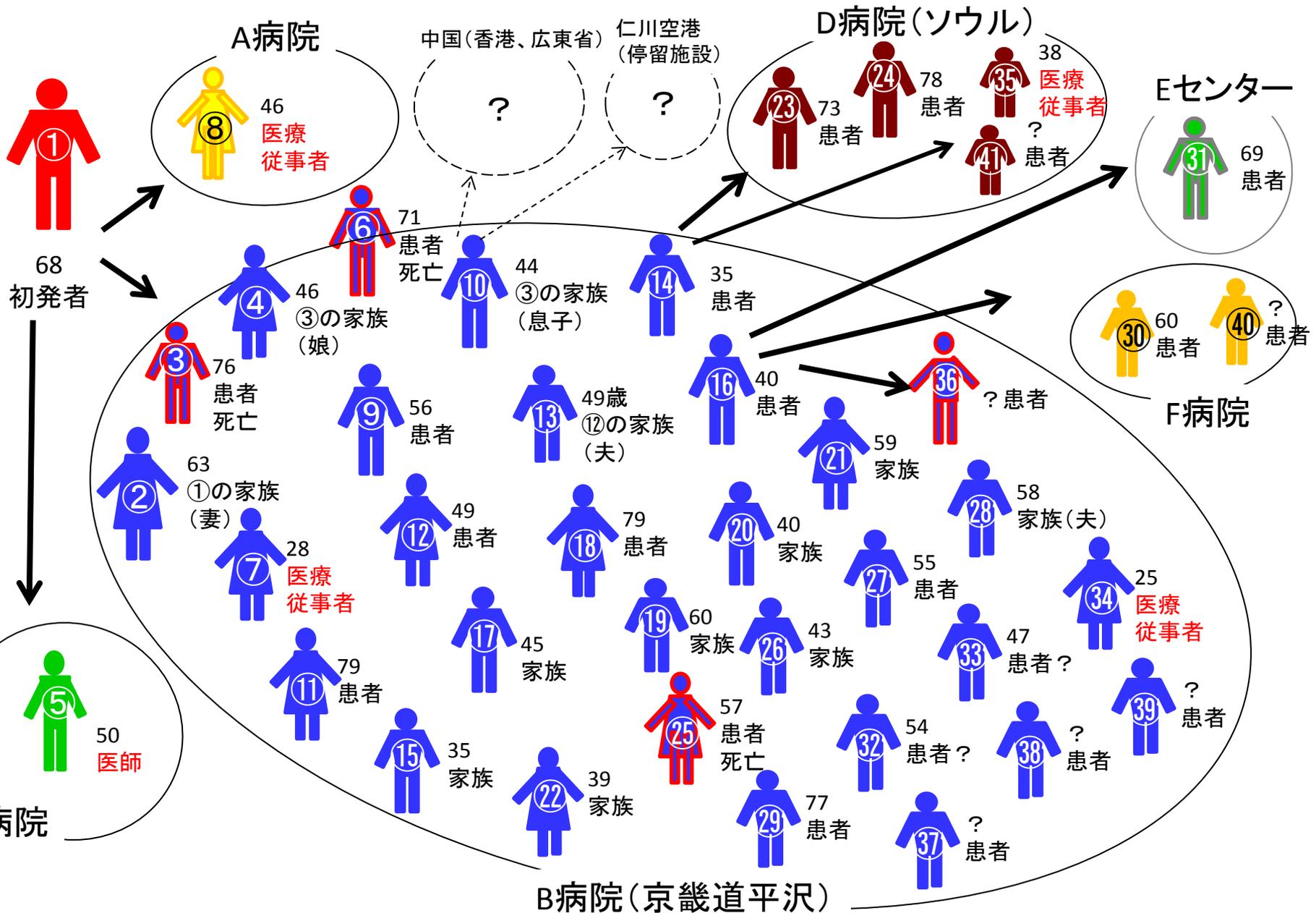
条件付き書式 テーブルとして書式設定

メモ リンク セル 計算 警告文

国	flutracker No	年齢	性	発症日	確定日	推定曝露属性	推定曝露感染源と予測	備考	
1								備考(중동호흡기증후군: 메르스)、http://www.who.int/csr/don/en/ http://www.cdc.gov/kor/CDC/intro/CdcKrintro0201_jsp?menuids=HOME001-MNU1154-lv https://flutracker.com/forum/forum/novel-coronavirus-ncov-mers-2012-2014/novel-fao-moa-reports-and-updates/south-korea-coronavirus/732065-south-korea-coronavirus	
2	韓国1	1149	68	男	5/11	5/20	中東地域 旅行者	4月29日 5月11日~5月18日	WHO通報5月24日、4月18日から5月3日まで中東(4月18日~29日: パーレーン、29日~5月3日: パーレーン)に滞在していた患者、5月11日から5月18日まで韓国に滞在していた患者
3	韓国2	1151	63	女	5/19	5/20	B病院(平) 家族	5月15日~17日	WHO通報5月24日、初発事例の妻、5月15日から看病をしている。合併症なし、渡航歴なし
4	韓国3	1152	76	男	5/20	5/21	B病院 入院患者	5月16日(5時間)	6月4日死亡 WHO通報5月24日、初発事例とB病院で5時間だけ同室入院
5	韓国4	1158	46	女	5/25	5/26	B病院 入院患者の家族	5月16日	76歳男性の娘、B病院に入院中(5月16~20日)の父の介助中に曝露、5月21日から健康
6	韓国5	1160	50	男	5/25	5/26	C病院 医師	5月17日	C病院の医師、22日から自宅隔離中のところ25日から発熱、26日に検査で確定
7	韓国6	1161	71	男	5/24	5/28	B病院 入院患者	5月15日~17日	6月1日死亡 初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた患者、5月28日に確定、慢性閉塞性呼吸器病
8	韓国7	1162	28	女	5/26	5/28	B病院 医療スタッフ	5月15日~17日	B病院の入院病棟で勤務した医療スタッフ、21日から自宅隔離が始まり徐々に症状が出現
9	韓国8	1165	46	女	5/26	5/29	A病院 医療スタッフ	5月12日~15日	初発事例をA病院で診察した看護師、基礎疾患無し、5月26日は陰性だったが、5月28日に
10	韓国9	1171	56	男	?	5/29	B病院 入院患者	5月15日~17日	5月9日からB病院に入院中、初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた患者、29日の移
11	韓国10	1167	44	男	5/19	5/29	B病院 入院患者の家族	5月16日(4時間)	2次 76歳男性の息子、5月16日に父親を見舞っている。中国に渡る前の5月19日に発熱
12	韓国11	1166	79	女	5/20	5/29	B病院 入院患者	5月15日~17日	初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた患者、基礎疾患あり、5月28日に隔離され、2
13	韓国12	1172	49	女	5/21	5/29	B病院 入院患者	5月15日~17日	初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた患者、基礎疾患あり、5月28日に隔離され、2
14	韓国13	1180	49	男	5/21	5/29	B病院 入院患者の家族	5月15日~17日	12例目の配偶者、5月中旬に病院で妻の看病にあたっていたが、発熱し体調を崩していた
15	韓国14	1173	35	男	?	5/30	B病院 入院患者	5月15日~17日	2次感染 初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた患者 5月6日に咳と痰の症状が出現
16	韓国15	1174	35	男	5/24	5/30	B病院 入院患者の家族	5月15日~17日	2次感染 初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた母(現在は、自宅隔離中)を毎日見
17	韓国16	1181	40	男	5/20	5/31	B病院 入院患者	5月15日~17日	初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた患者、5月25~27日は他の病院へ転院、28~
18	韓国17	1182	45	男	5/22	5/31	B病院 家族(息子)	5月15日~16日	安定 初発事例とB病院で同じ病棟に入院していた患者の家族(息子)で、15日~16日に入院中
19	韓国18	1183	77	女	5/20	5/31	B病院 入院患者	5月15日~16日	安定 初発事例とB病院で同じ病棟に入院(5月4日~16日)していた患者
20	韓国19	1186	60	男	5/28	6/1	B病院 家族	5月16日~17日	安定 初発者とB病院で同じ病棟に入院していた患者の介助を行っていた保護者
21	韓国20	1187	40	男	5/23	6/1	B病院 入院患者	5月15日~17日	安定 初発者とB病院で同じ病棟に入院していた患者
22	韓国21	1188	59	女	5/23	6/1	B病院 家族(妻)	5月15日~17日	安定 初発者とB病院で同じ病棟に入院していた患者の妻、症状は5月29日には消失したが再発
23	韓国22	1189	39	女	5/27	6/1	B病院 家族(母)	5月15日~17日	安定 初発者とB病院で同じ病棟に入院していた患者の母、
24	韓国23	1190	73	男	5/31	6/1	D病院 入院患者	5月28日~30日	16例目(5月31日にMERSと確定)と5月28日~30日に同病棟にいた
25	韓国24	1191	78	男	5/31	6/1	D病院 入院患者	5月28日~30日	安定 16例目(5月31日にMERSと確定)と5月28日~30日に同病棟にいた
26	韓国25	1192	57	女	?	6/1	B病院 入院患者	5月15日~17日	6月1日死亡 喘息に起因する呼吸障害があり、5月11日から入院加療中。5月15~17日に発端となった
27	韓国26	1193	43	男	5/21	6/2	B病院 家族	5月15日~17日	安定 初発者とB病院で接触した家族、13日~18日に息子の見舞いに行ったときに初発者と同じ
28	韓国27	1194	55	男	6/1	6/2	B病院 入院患者	5月15日~17日	安定 初発者とB病院入院中(5月4日から28日)で接触した患者、
29	韓国28	1195	58	男	5/29	6/2	B病院 家族(夫)	5月15日~17日	安定 初発者とB病院で同室に入院した患者の夫

韓国におけるMERSの発生状況

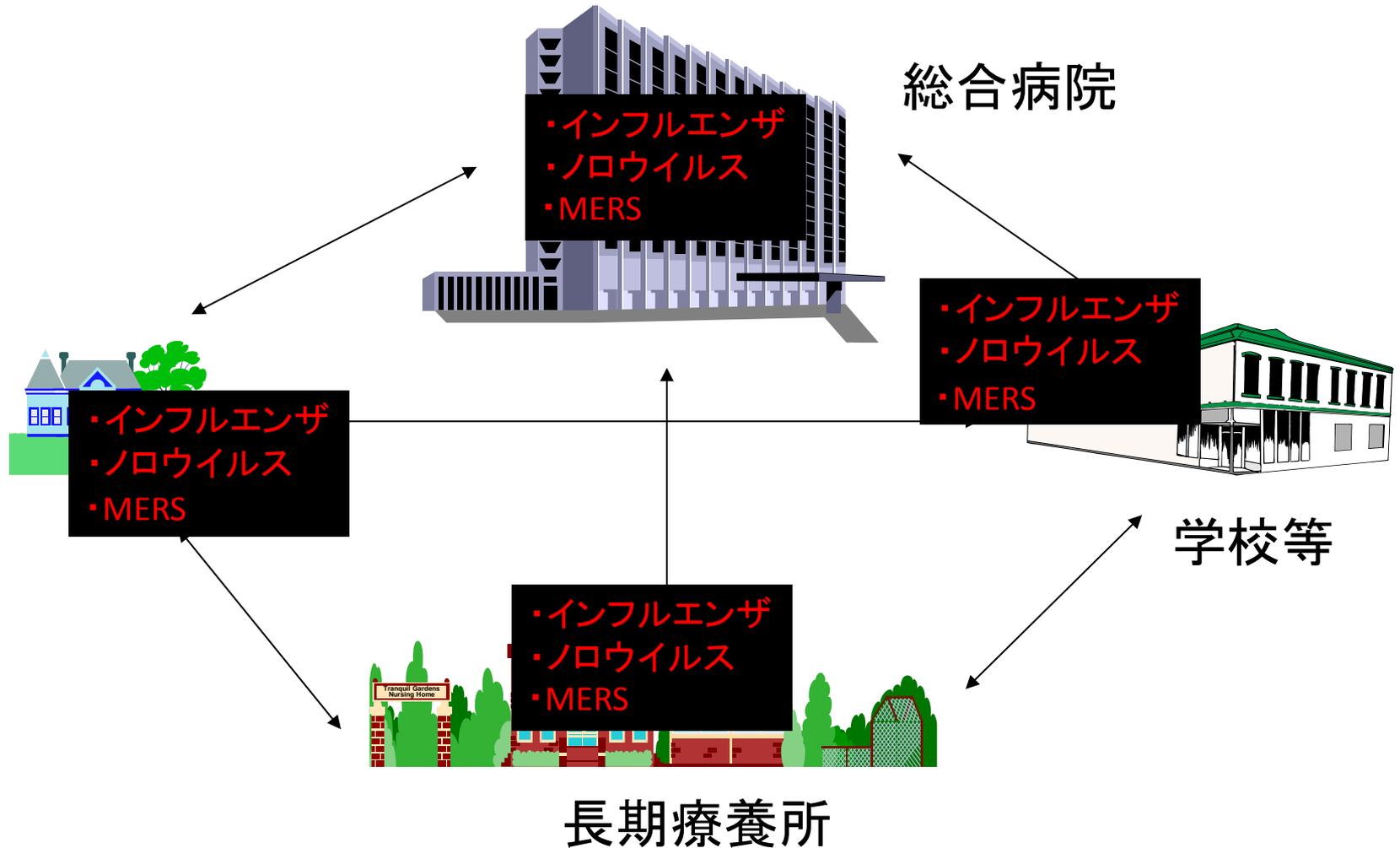
2015.6.5現在
41名



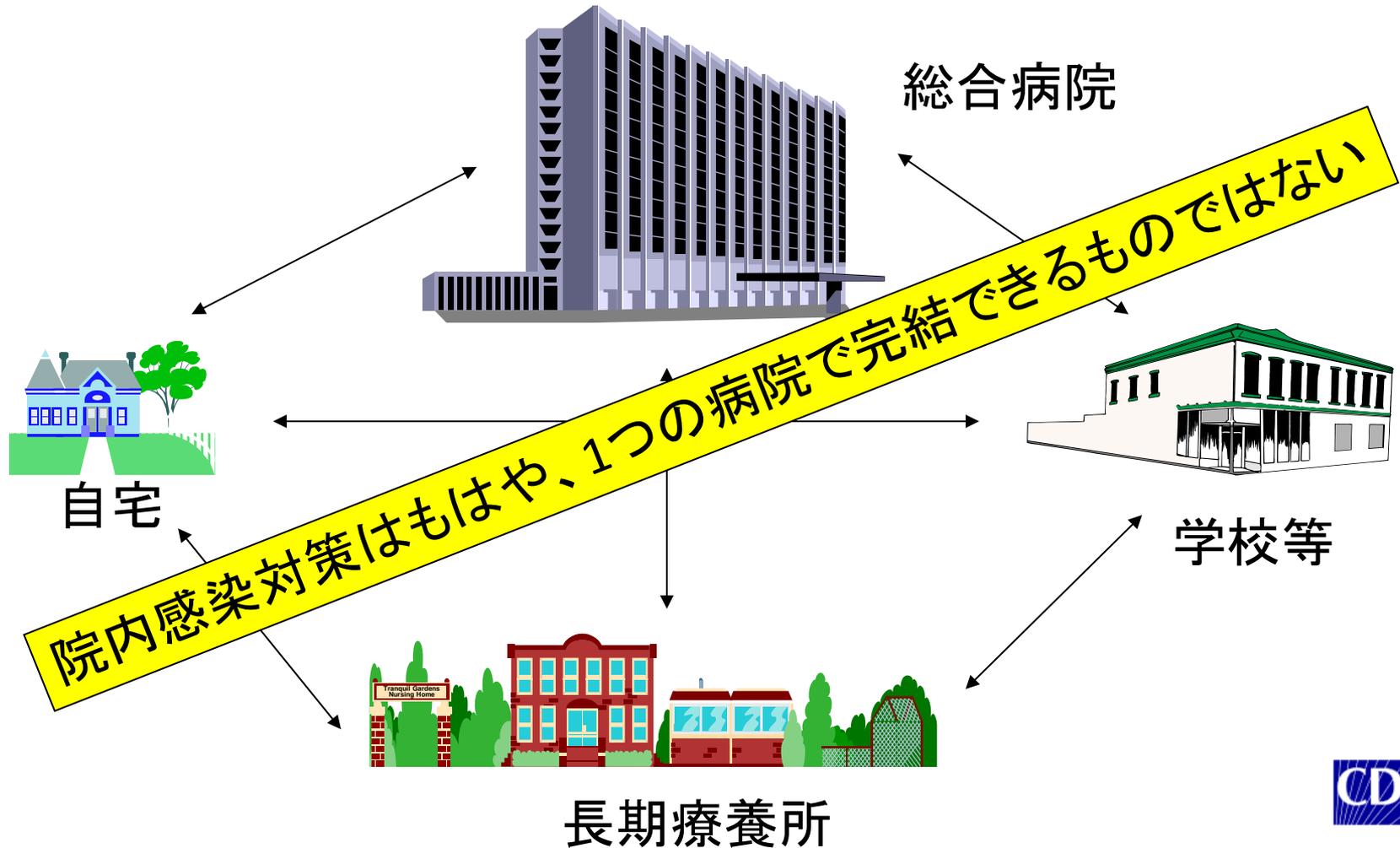
昨今の医療をめぐる感染症の特徴は・・・

- 1 抗菌薬に耐性を持つ菌の発生（薬剤耐性菌）
- 2 免疫力が低下した患者での感染（日和見感染）
- 3 医療行為による感染（術後感染、薬剤汚染など）
- 4 市中感染の施設内拡散（インフルエンザ、ノロウイルスなど）
- 5 施設内の感染症が市中へ拡散

地域医療と院内感染対策



地域医療と院内感染対策



医療関連感染: (HAI: Healthcare Associated Infection)

感染症の成り立ち

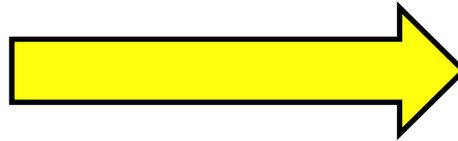
感染源

感染経路

感受性者



ヒトが感染源である場合



咳、くしゃみなどの飛沫

血液、痰、尿、便
などの排泄物

呼気として排出された
病原体



過去の罹病歴

基礎疾患、加齢
による免疫力の低下

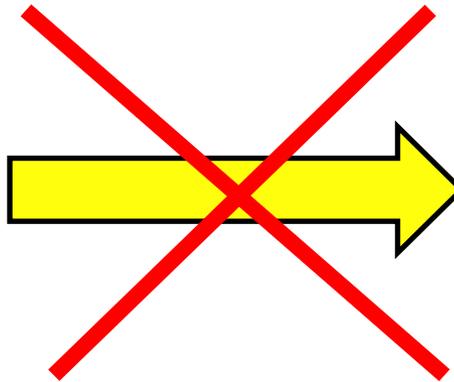
感染症対策の3ポイント

感染源対策



- 患者の封じ込め
- 汚染物の消毒
- 咳エチケット(マスク)

感染経路対策



- マスクの励行
- 手洗い・手指消毒
- 手袋、ガウンの装着

感受性者対策



- 予防接種
- 流行時の予防内服
- 感受性者の逆隔離

“戦い”には、“周到な準備”が重要

軍議のこと



孫子
(古代中国の軍師)

- 算多きは、勝つ
- 勝兵は、まず勝ちて後に戦いを求め
敗兵は、まず戦いて後に勝ちを求む
- 彼を知りて、己を知れば、百戦殆うからず

「MERS」について検討するためには……

「MERS対応」でも“周到な準備”が大切

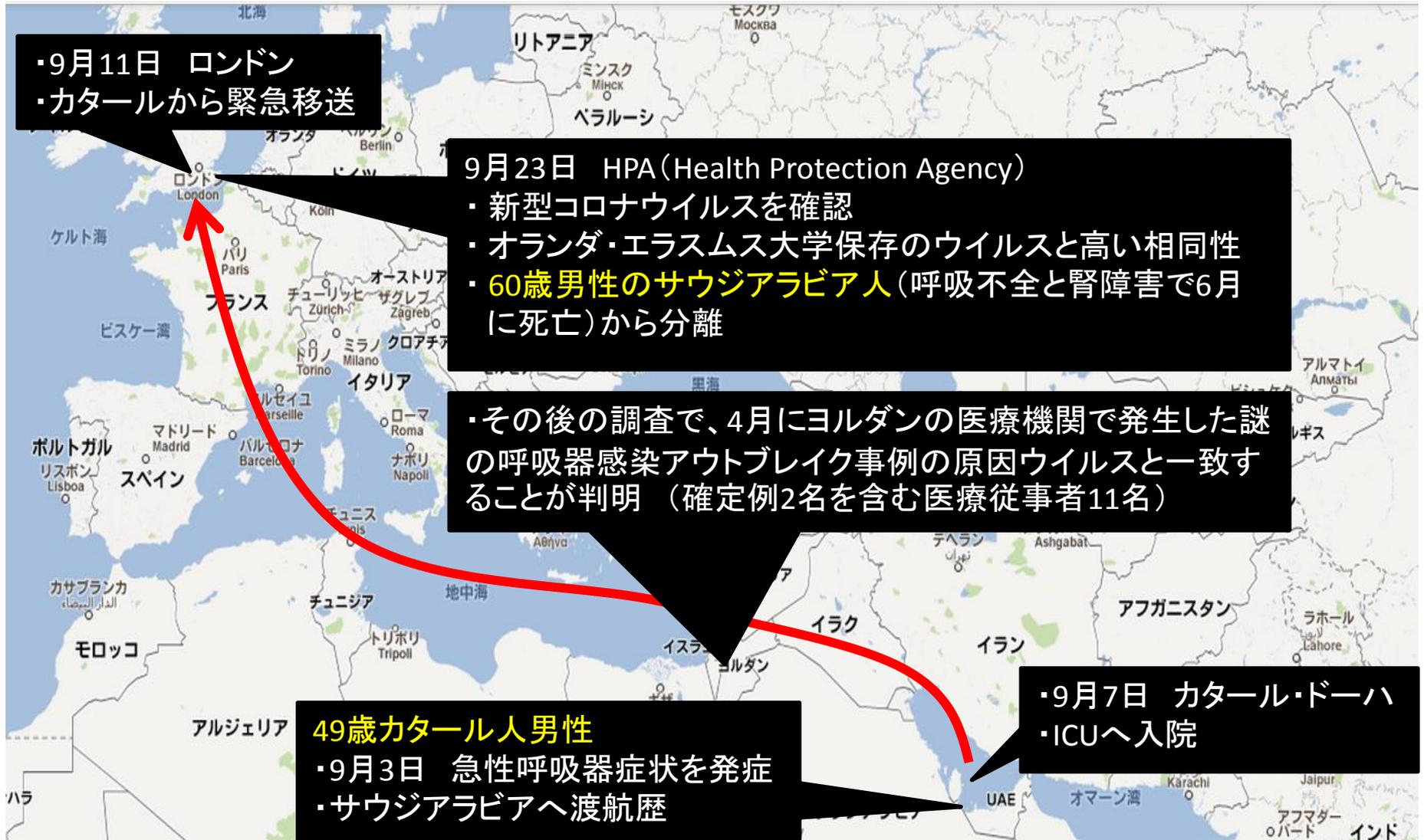
- 彼を知る

- MERSの病原体、感染源・感染経路について知る
- MERSがどのような症状をとる疾患かを知る
- 韓国内でのMERS発生の特徴を知る

- 己を知る

- コミュニティ内でMERSに発生した時の連絡・協力体制は？
- 感染予防のための基本的な手技は？

2012年 中東呼吸器症候群(MERS)の発生



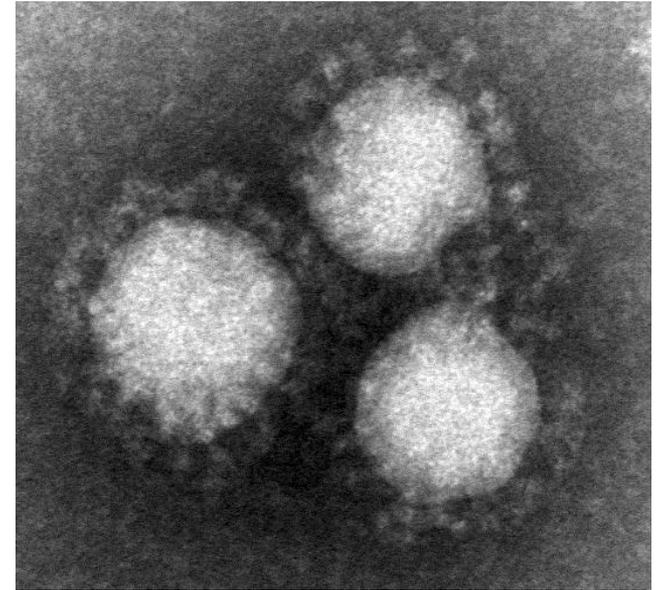
WHOホームページ: http://www.who.int/csr/don/2012_09_23/en/index.html

HPAホームページ: <http://www.hpa.org.uk/NewsCentre/NationalPressReleases/2012PressReleases/120923acuterespiratoryillnessidentified/>

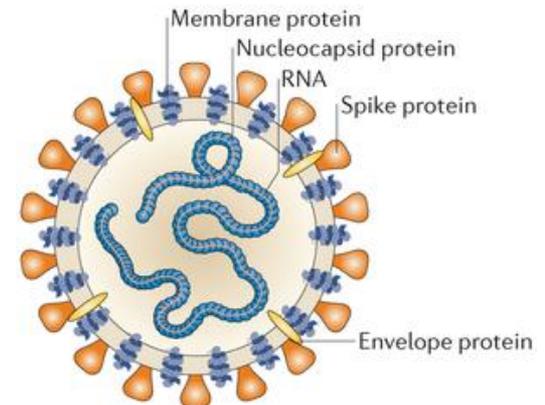
Promedホームページ: <http://www.promedmail.org/direct.php?id=20120920.1302733>

MERSについて判明していること

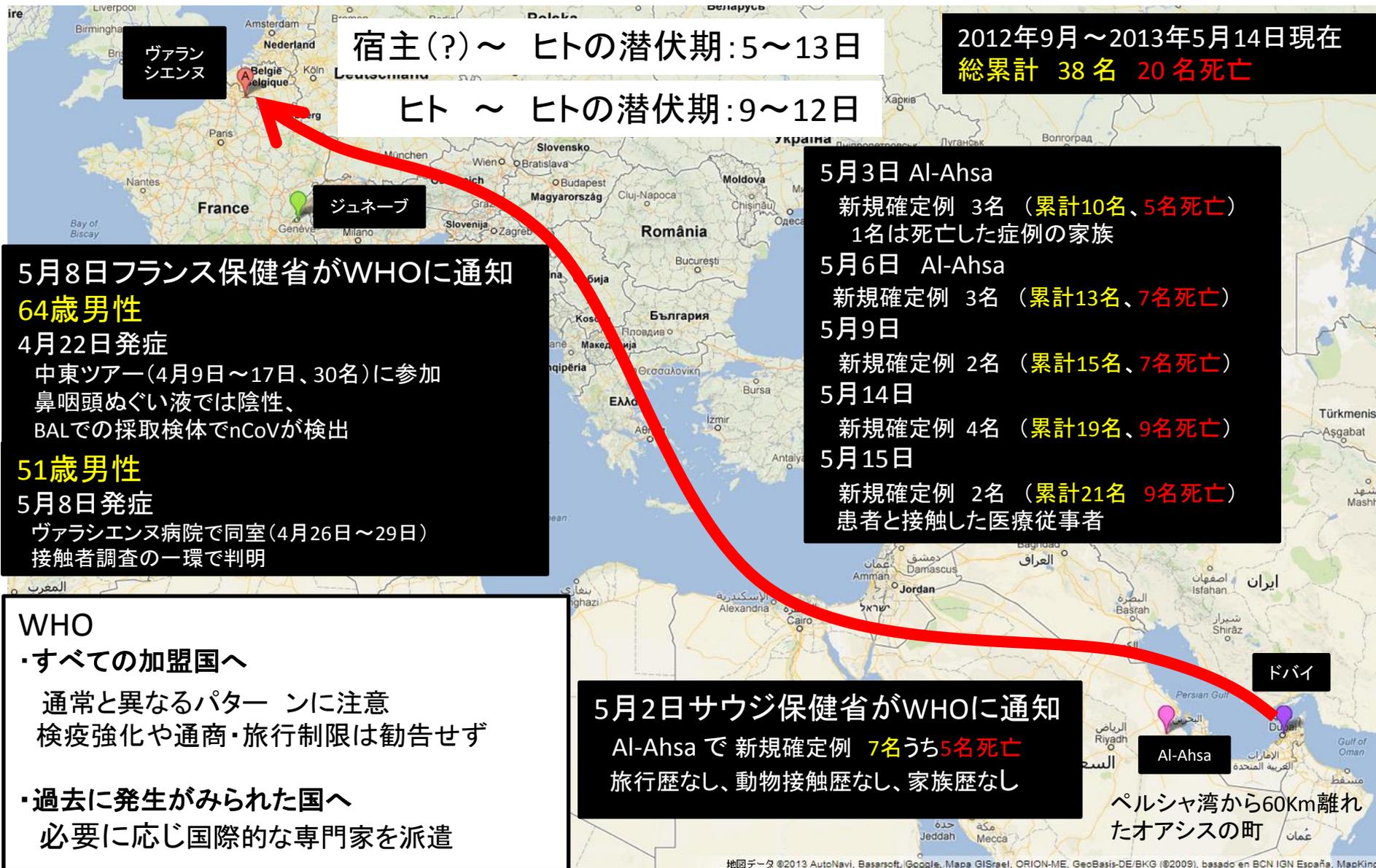
- 病原体
 - MERSコロナウイルス
 - 膜表面に太陽のコロナ様の突起
 - 2003年のSARSウイルスの仲間
 - エンベロープ(脂質膜)を有する
 - アルコール消毒で容易に失活する
 - 1本の+鎖のRNAウイルス
 - 変異しにくい
 - 環境中に比較的長期に生残する



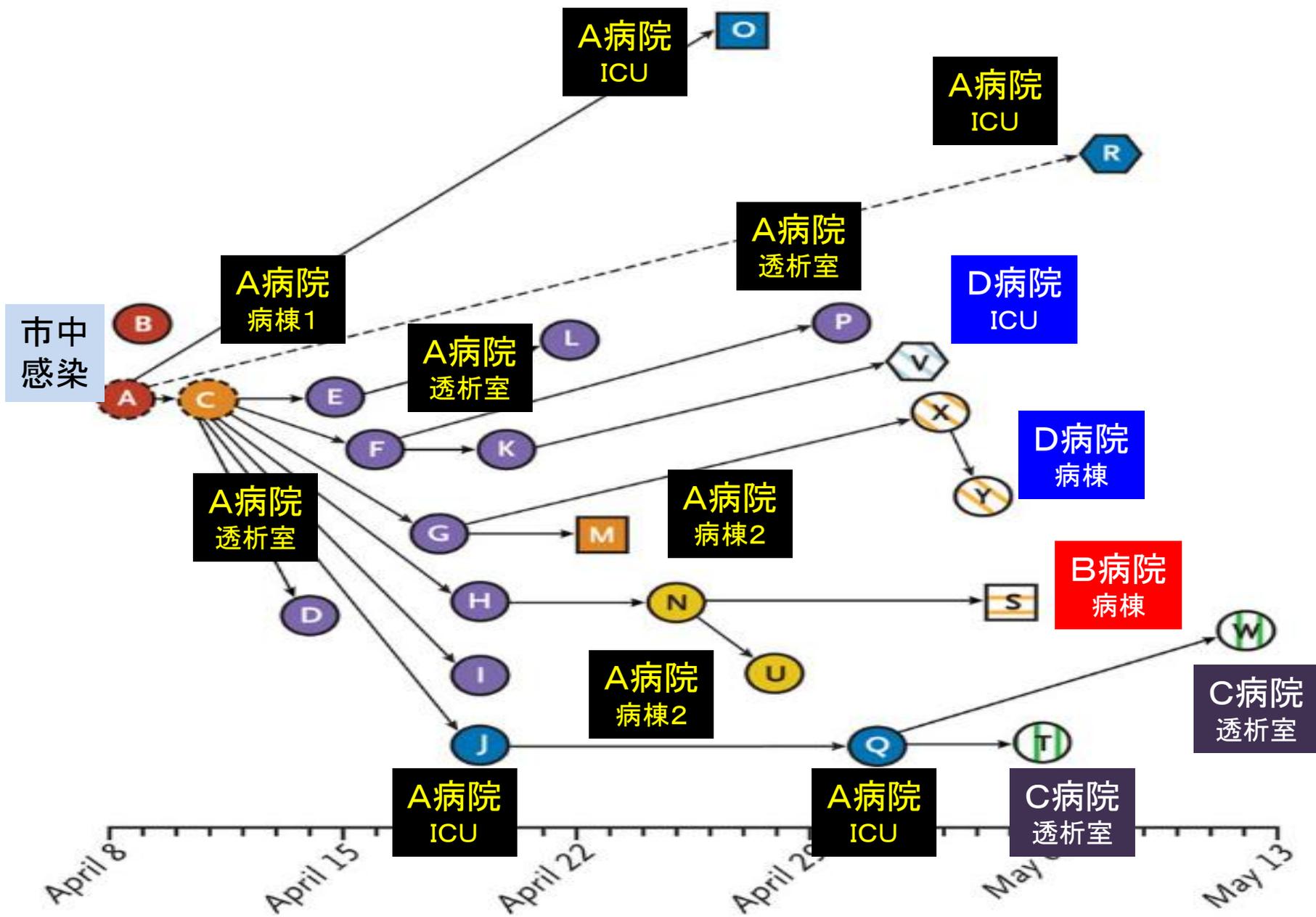
国立感染症研究所ホームページより



2013年5月以降の第2波の発生状況



サウジアラビア東部地区での医療施設アウトブレイクの様相



MERSについて判明していること

- 感染源

- コウモリ

- ラクダなどの家畜動物

- サウジアラビアでは74%が感染

- 接触感染

- と殺、不十分な加熱の肉

- ラクダのミルク

- 患者の飛沫・体液曝露

- 医療施設での院内感染

- 家族での感染

- 地域での感染

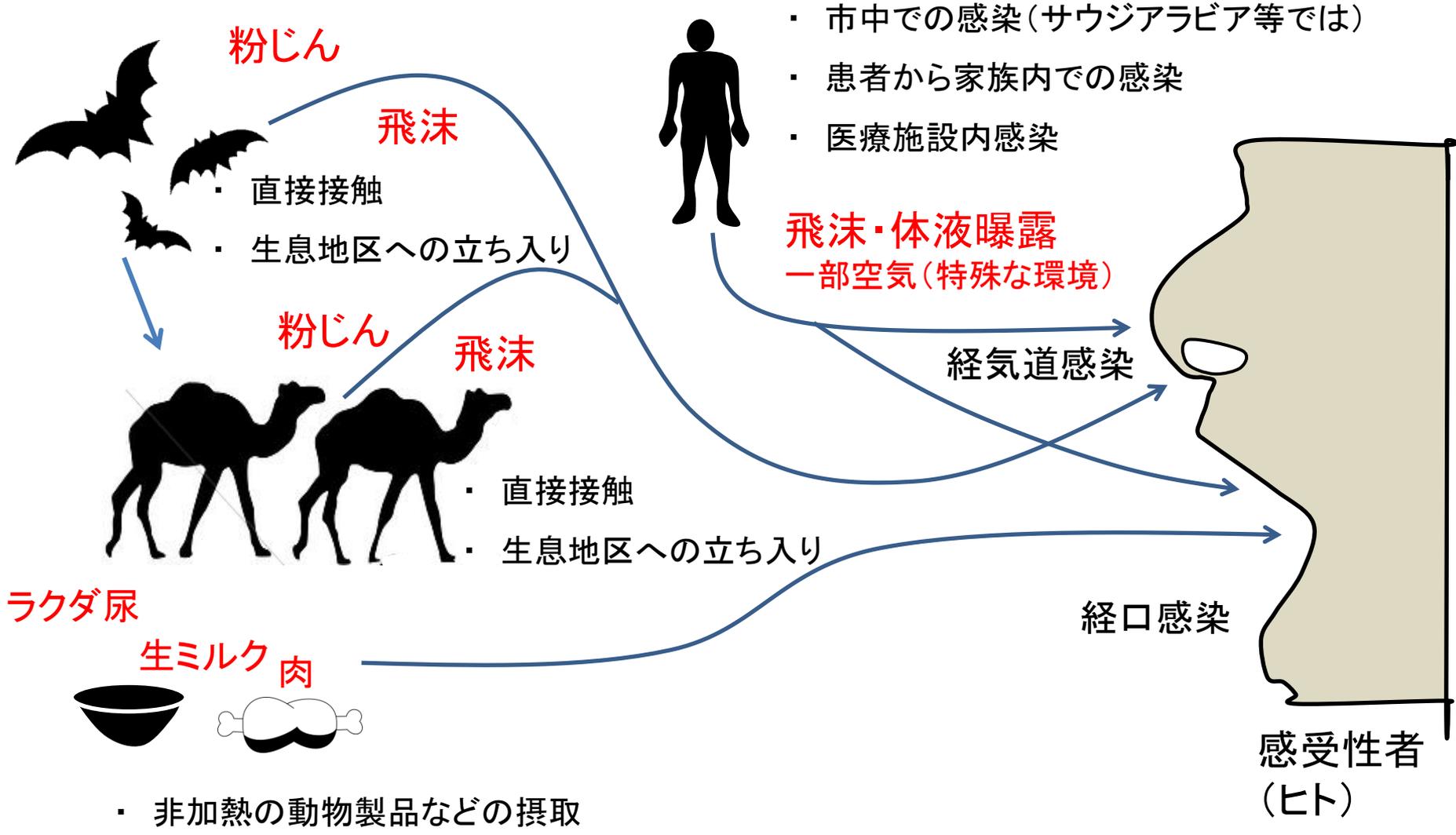
- 特殊な状況下では飛沫核が発生

- 人工呼吸器時の喀痰吸引作業中



MERSの感染症式

感染源



MERSについて判明していること

- 臨床像

- 潜伏期

- 1～2週間

- 無症状者から重症者まで

- 発熱

- 鼻水、咳、痰の上気道症状

～ 息切れ、呼吸困難、肺炎

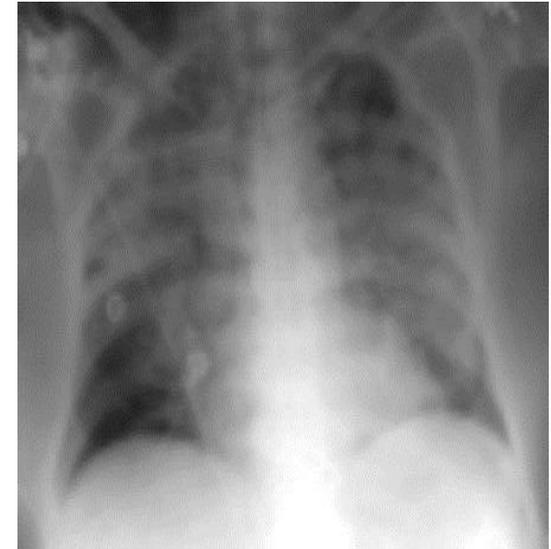
- 消化器症状：下痢

- 特に免疫抑制状態の場合

- 合併症：腎不全など

- 症例致死率：37.4%（444名/1190確定例 2015. 6. 6現在）

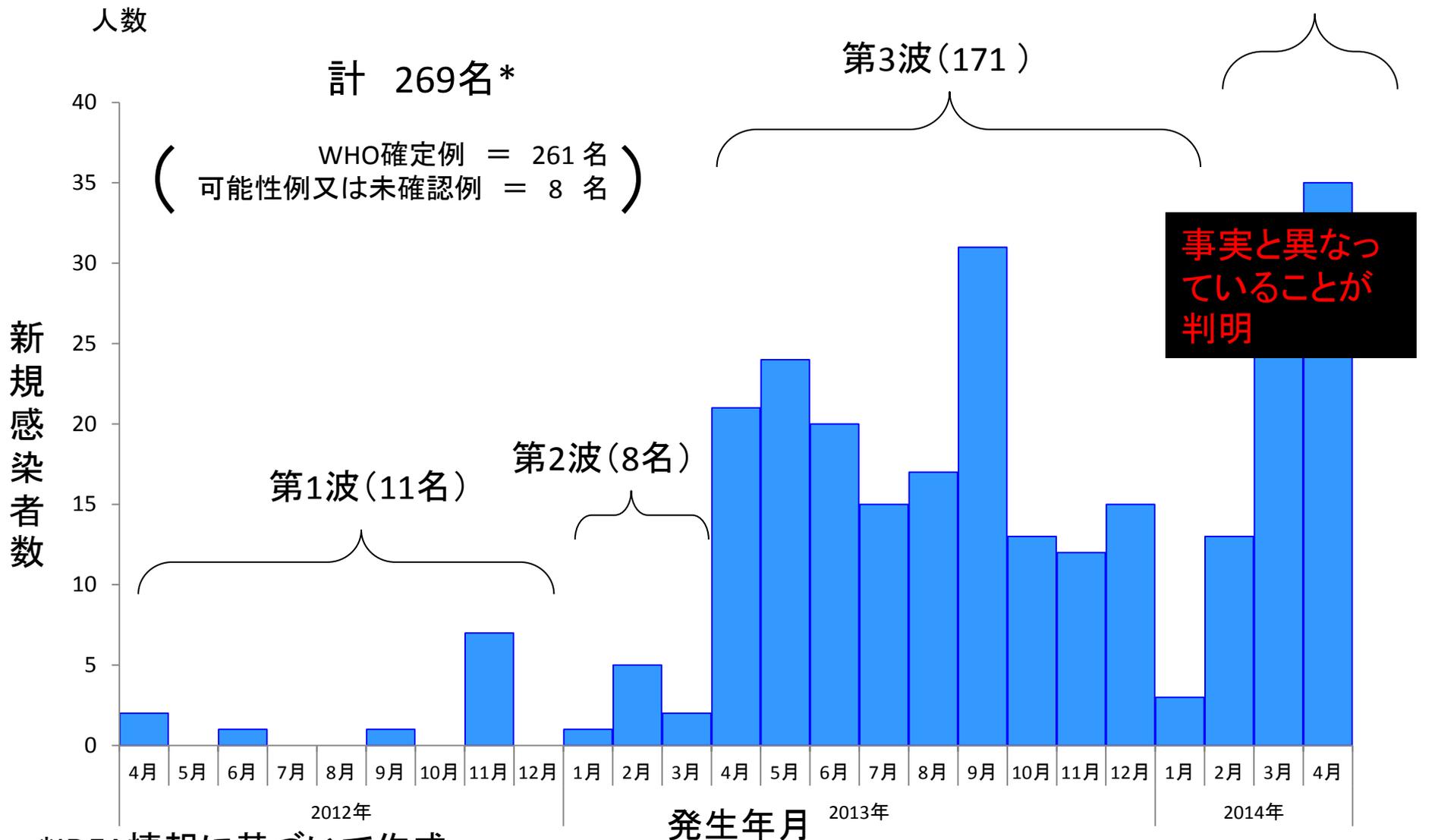
- 特異的なワクチン、治療法：なし



引用 WHO暫定ガイダンス

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況

2012年4月1日～2014年4月26日



*IDEA情報に基づいて作成

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況

2012年4月1日～2014年6月22日

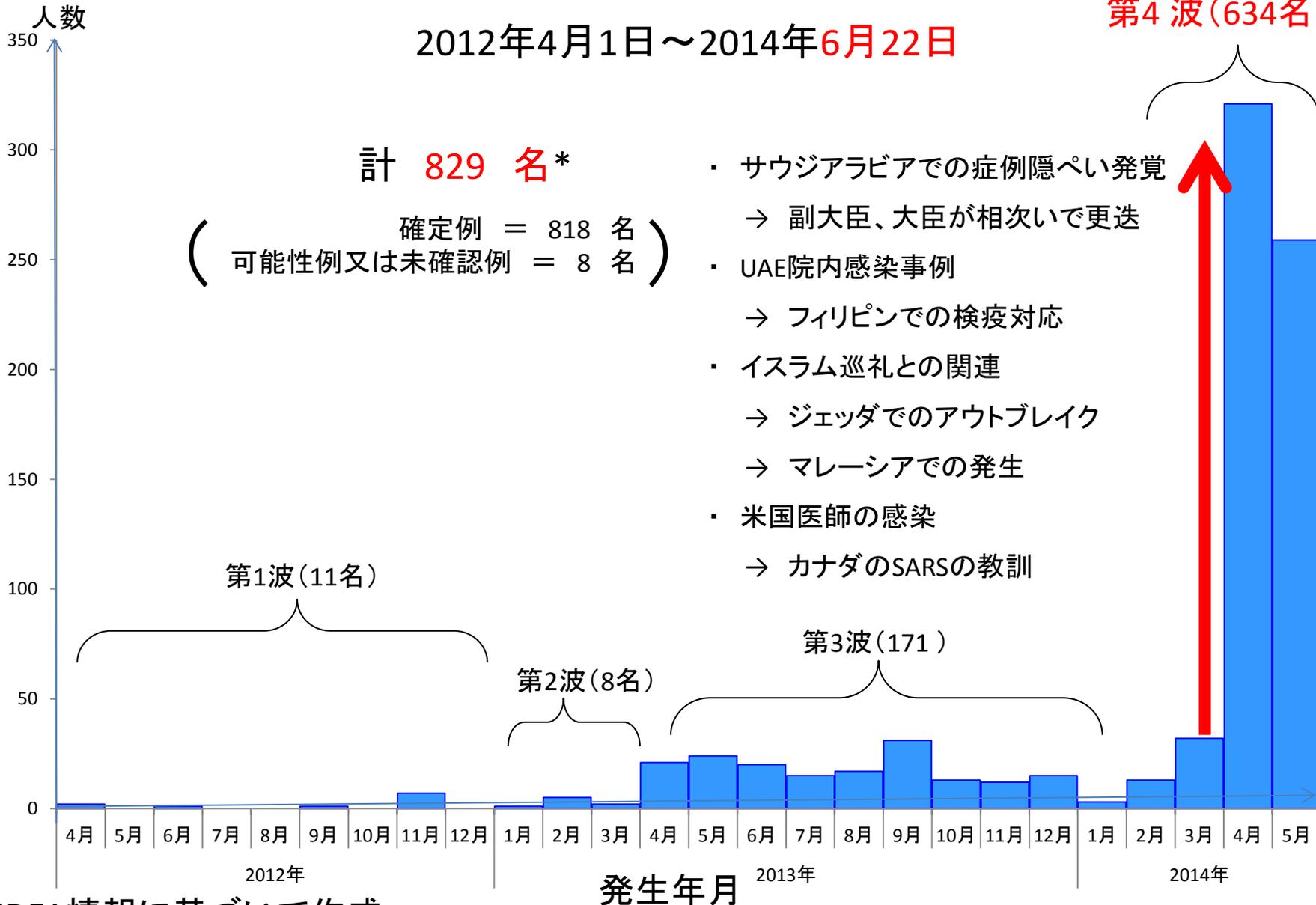
第4波(634名)

計 829 名*

(確定例 = 818 名
可能性例又は未確認例 = 8 名)

- ・ サウジアラビアでの症例隠ぺい発覚
→ 副大臣、大臣が相次いで更迭
- ・ UAE院内感染事例
→ フィリピンでの検疫対応
- ・ イスラム巡礼との関連
→ ジェッダでのアウトブレイク
→ マレーシアでの発生
- ・ 米国医師の感染
→ カナダのSARSの教訓

新規感染者数



*IDEA情報に基づいて作成

2014年4月 フィリピンでの対応

フィリピンでの対応

4月16日 UAEから大使館を通じて“陽性”と通報
45歳看護師を隔離
マニラ空港で出迎えの家族 → 停留
空港関係者、搭乗者 → 健康監視

4月19日

45歳看護師は、現在はウイルスに感染していないと発表。ただし、検疫は継続して強化する。



UAE政府の対応

4月9-10日 医療従事者スクリーニング調査

4月13-14日 検査結果

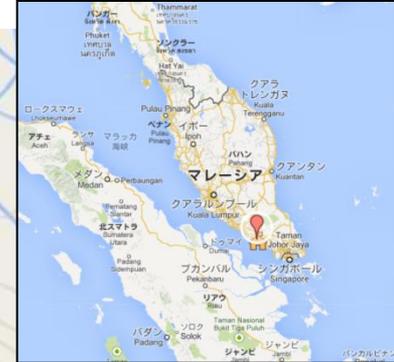
10名(男8,女2)が陽性
(4名無症状、5名軽症、1名肺炎) → 入院

4月14日

死亡した看護師と同僚の**45歳男性看護師**
が検査結果を待たずにフィリピンに帰国

45歳 フィリピン人女性
看護師として病院で勤務
基礎疾患なし
確定患者、動物との接触無し
4月6日発症
4月7日入院
4月10日 **死亡、WHOに通報**

2014年4月 マレーシアでの対応



Masjid Kampung Bintang

54歳 男性 基礎疾患あり

3月15-28日 サウジアラビア巡礼(18名で)

3月29日 帰国

4月4日 発熱、咳、呼吸困難 出現

4月9日 近医受診

4月10日 Sultanah Nora Ismail Hospital 入院

4月13日 死亡

当局の対応

4月17日

・患者発生の際での健康スクリーニングの結果、64名の有症状の村民を隔離(1週間)

4月20日現在

・197名の接触者(家族、親戚、搭乗者、友人、医療関係者)の健康監視(14日間)終了
・15人の巡礼同行者は健康
・31サンプルは陰性



マレーシアでのMERS患者発生の村での検診風景



<http://www.thestar.com.my/News/Nation/2014/04/19/Villagers-ignore-virus-alert-Kg-Bintang-folk-go-about-business-as-usual-despite-Health-dept-advice/>

2014年5月 米国での対応



サウジアラビアのMERS確定例は1,028例 (27.6.10)



مركز القيادة و التحكم
Command & Control Center



- /SaudiMOH
- /SaudiMOH
- /MOHPortal
- /Media Inquiries

Health Guidelines Awareness Publications FAQs Misconceptions Statistics News Health Staff Guidelines

عربي

CCC Statistics

死亡者451例 (CFR:43.9%)

Find Out More About the Center

Health Staff Guidelines

Sectors Information

CORONA VIRUS (MERS-CoV)
Health Guidelines

Cough and Sneeze Etiquette

YouTube

Statistics

As of 12 pm June 9, 2015

- 8 Cases Under Treatment + and 1 cases on home isolation
- 563 Cases Recovered
- 1028 Cases * Total

* Since 2012.
451 cases passed away
(May Allah have mercy upon them).

Disclaimer: The total number of cases is subject to change due to reclassification, retrospective investigation, consolidation of cases and laboratory data, and enhanced surveillance outcome.

- MOH: '1 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '1 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: 'No New Corona Cases Recorded'
- MOH: '2 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '5 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '1 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '1 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '1 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '2 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: 'No New Corona Cases Recorded'
- MOH: '4 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '3 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: '1 New Confirmed Corona Cases Recorded'
- MOH: 'No New Corona Cases Recorded'
- MOH: '1 New Confirmed Corona Cases Recorded'

09 June 2015
08 June 2015



世界でのMERSの発生状況

(27.6.)



MERSについて判明していること

- 患者の発生様相

- 感染した動物との接触 **散発**

- 農場
 - ラクダの生乳

- 医療施設での発生 **アウトブレイク**

- 閉鎖的な環境
 - 濃厚な接触
 - 直接的な曝露
 - 易免疫宿主(免疫力が落ちている患者)
 - 医療スタッフや汚染物を介した2次感染

韓国で中東呼吸器症候群(MERS) が発生しています！

〈韓国における患者等の発生状況〉

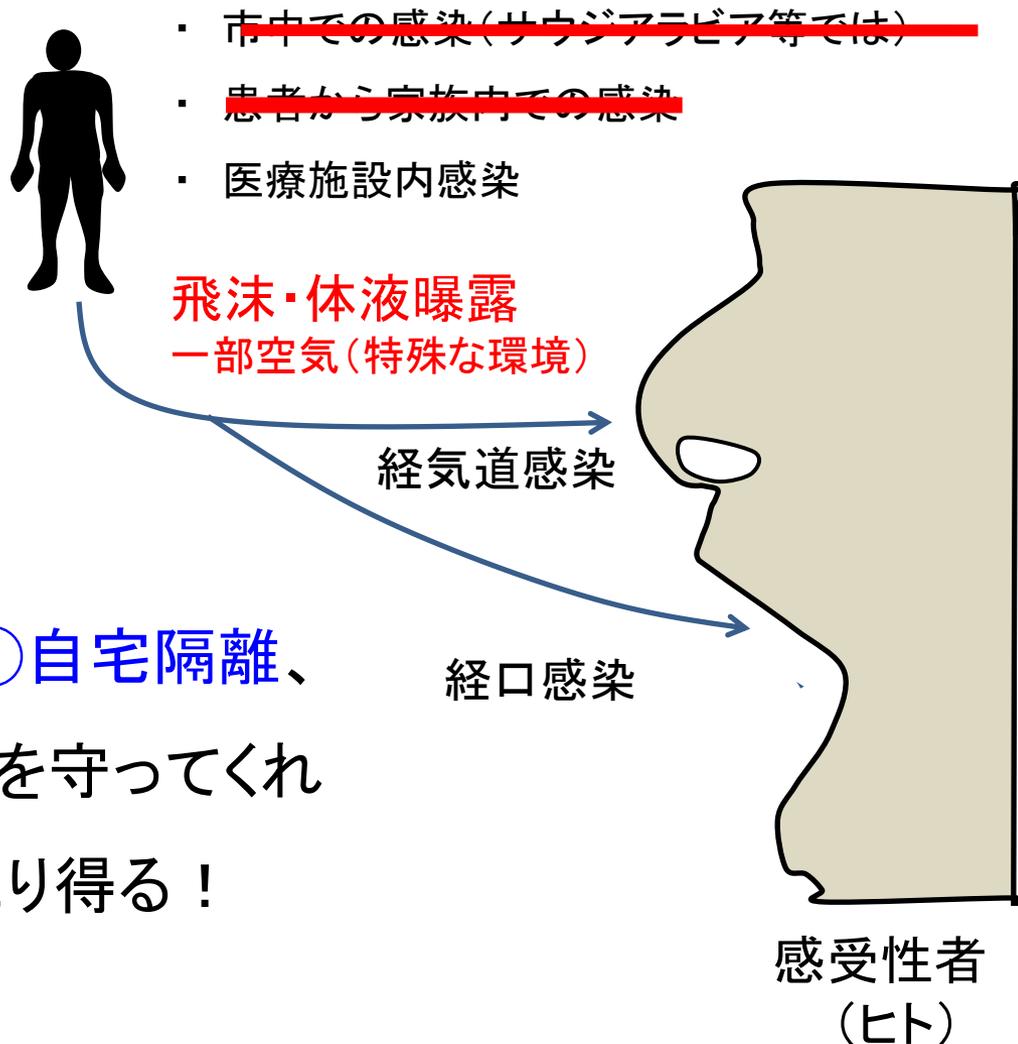
2015年5月20日、韓国において初のMERS患者が確認されました。その後、医療機関において二次感染者が発生するなど、多数のMERS患者や死亡例が発生しています。



MERSは、

感染してから2～14日後に、発熱や呼吸器症状(せき、息切れや呼吸困難など)を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。特別な治療方法やワクチンはありません。

現在の韓国におけるMERS



ただし、健康監視対象者が①自宅隔離、
②健康報告、③咳エチケットを守ってくれ
ないと、市中での感染が起こり得る！

医療従事者が行う2段階の感染対策

1. 標準予防策

- 全ての患者は感染性病原体を保有するものと見なす
 - 1処置ごとに1回手洗いを実施
 - 目に見えて汚れていなければアルコール手指消毒でも可
 - 血液・痰・尿・便など体液に触れる場合は手袋を装着

2. 感染経路別対策

- 診断がついた段階で、病原体毎に
 - 接触感染予防策
 - 飛沫感染予防策
 - 空気感染予防策

感染管理上注意しなければならない行為



首から上(髪、眼、耳、鼻、口)は、微生物の宝庫

人の手の細菌叢

手指洗淨直後の医療スタッフの抜き打ち検査結果

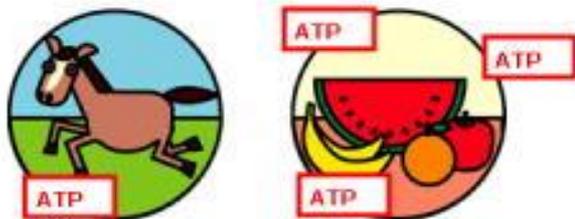
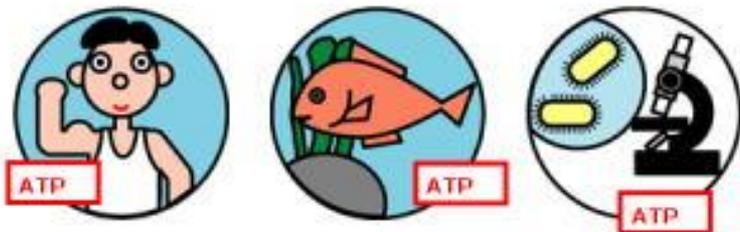


多くの病原微生物が、医療スタッフの手指により媒介

健常人には無害でも、免疫が低下した者には有害な菌もある

時間がかかるのが弱点

【ATPふき取り検査】



【ATP(アデノシン3リン酸)】

地球上の全ての生物のエネルギー源として存在する化学物質で、この存在は生命活動がおこなわれている証拠になる。



地球外生命体でも、……

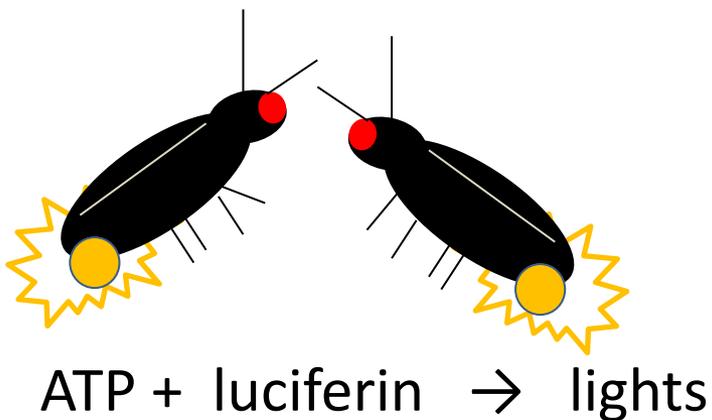
医療現場では、血液、体液、排泄物、微生物等は、必ずATPを含んでいる。見た目がきれいであっても、実際には汚れている場合がある。

【ATPふき取り検査】

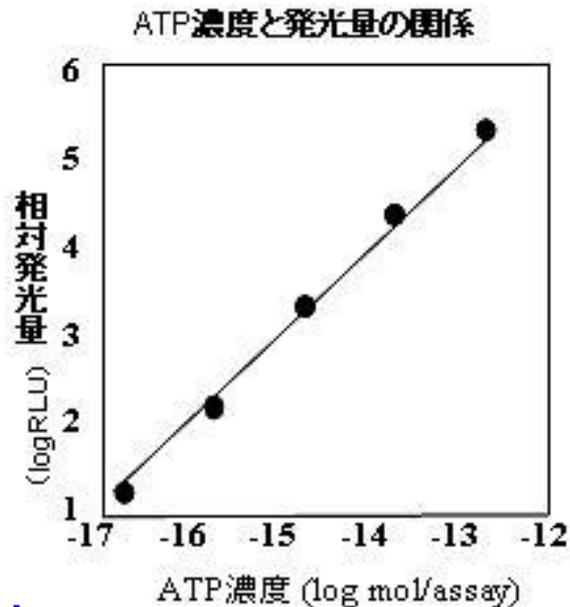


ATPを利用した清浄度検査

手指、医療器具、食品加工設備
機器などが、十分に清浄に維持さ
れているかどうかを調査

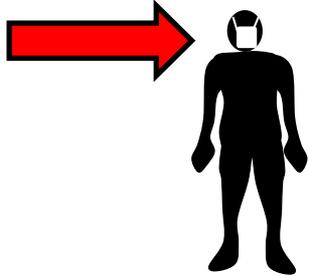


10秒で判定！



マスクの意味

感染源



飛沫・体液曝露
一部空気(特殊な環境)

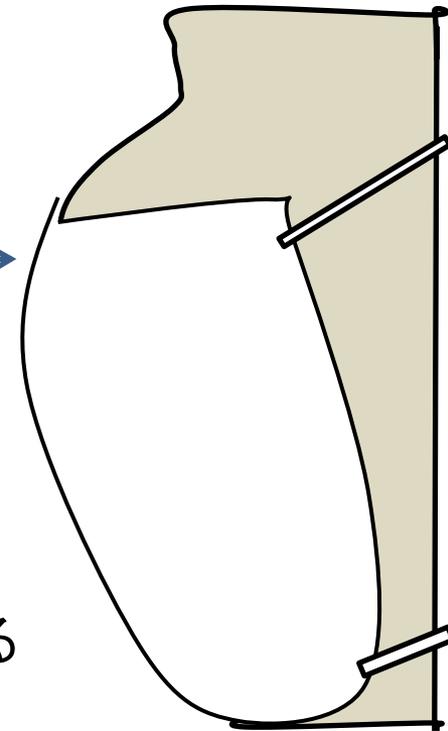
経気道感染

エアロゾル化した病原体の
曝露の可能性がある場合
(医療従事者のみ)

空気感染対策

・N95マスク

経口感染



咳をしている患者がマスクする

咳エチケット

・サージカルマスク

健康な人がマスクする

飛沫感染対策

・サージカルマスク

感受性者
(ヒト)

マスク

サージカルマスク



患者、医療従事者

N95 マスク



医療従事者

インフルエンザでは？

皆さんが帰国するときは

韓国での流行を受けての日本のMERS対応

- 韓国における中東呼吸器症候群(MERS)の発生について
厚生労働省課長通知(27年6月1日)
 - 疑い患者を診察した場合の対応と情報提供について
- 韓国における中東呼吸器症候群(MERS)への対応について
厚生労働省課長通知(27年6月4日)
 - 疑い患者発生時の行政検査、患者搬送、入院措置を迅速に行う
 - 情報提供を求める患者要件の改正
 - MERS疑似症患者の定義
 - 検疫所との連携について
- 韓国における中東呼吸器症候群(MERS)への検疫対応について
厚生労働省課長通知(27年6月4日)
 - 韓国からの入国者についても対応

韓国から帰国者・入国者への検疫

- 質問（検疫法第12条）
 - 疑似症にあたるか否かを検討する
- 診察（同第13条）
 - 疑似症者に対してMERSの検査を行う
- 健康監視（同18条2項）
 - 国内における居所及び連絡先
 - 氏名、年齢、性別
 - 国籍、職業
 - 旅行の日程
 - 当該者がMERSに感染したことが疑われる場所
 - 14日間の健康状態について、1日2回電話で問い合わせる

MERS疑似症患者

- 症状

- 発熱(38°C以上、ただし解熱剤内服の場合は全身倦怠感)

- 潜伏期内

- 発症前14日以内に韓国において

- 接触歴

- MERSが疑われる者の診察、看護、介護を行った者
- MERSが疑われる者と同居(病室、病棟への滞在を含む)
- MERSが疑われる者の気道分泌液、体液等に直接接触した者

MERS確定患者

- 症状

- 発熱(38°C以上、ただし解熱剤内服の場合は全身倦怠感)

- 潜伏期内

- 発症前14日以内に韓国において

- 接触歴

- MERSが疑われる者の診察、看護、介護を行った者
- MERSが疑われる者と同居(病室、病棟への滞在を含む)
- MERSが疑われる者の気道分泌液、体液等に直接接触した者

- 検査

- MERSウイルス遺伝子がPCR法により検出
- MERSウイルスが分離・同定された者

健康監視対象者

- 症状
 - なし

- 潜伏期内
 - 発症前14日以内に韓国において

- 接触歴
 - MERSが疑われる者の診察、看護、介護を行った者
 - MERSが疑われる者と同居（病室、病棟への滞在を含む）
 - MERSが疑われる者の気道分泌液、体液等に直接接触した者

- 検査
 - 行わない → 自宅で体温測定(2回/日)し、検疫官に報告

韓国から帰国・入国された方へ

中東呼吸器症候群（MERS）は、新しい種類のコロナウイルスによる感染症です。感染すると高熱や咳、息切れといったインフルエンザのような症状が出ます。特別な治療法はなく患者の症状に合わせて治療を行うことになります。

韓国に滞在していた方は、本日から14日間、健康状態に留意し、以下のように行動してください。

- (1) マスクを着用し、できるだけ人ごみを避けるようにしてください。
- (2) 毎日2回（朝、夕）体温を測ってください。
- (3) 体温が38度以上になったり、激しい咳が出たり、呼吸が苦しくなったら、直ちに下記の検疫所に連絡し、あなたの名前、下記に示した調査票番号を伝えてください。他者への感染のおそれがありますので、検疫所又は保健所の指示があるまでは、絶対に直接医療機関に行かないでください。

記

連絡先：厚生労働省 検疫所 電話：

調査票番号： _____

※検疫所からあなたの体調について定期的に確認の電話をします。

注) 検疫法第18条第2項に規定する健康状態の報告要請です。正確に報告してください。なお、報告しなかった方又は虚偽の報告をした方は、検疫法第36条第7号の規定により6か月以下の懲役又は50万円以下の罰金に処されることがあります。

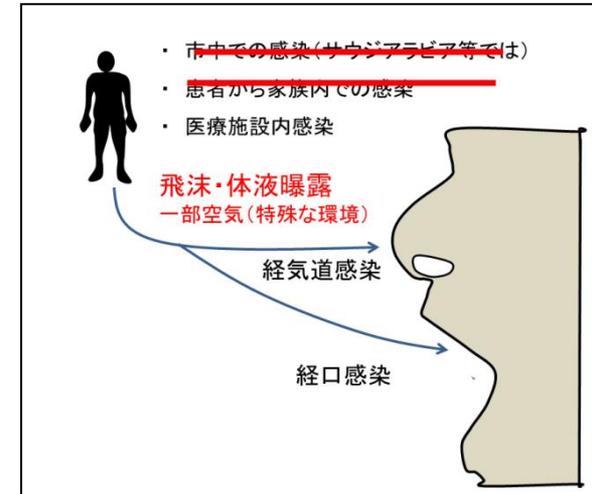
韓国におけるMERS感染対策

▪ 習慣化を図る

- 外出から戻ったら石鹼で手洗い
- 速乾性アルコール剤による手指消毒で代用可

▪ リスクを下げる

- 必要以上に病院に行かない、連れて行かない。
- 人ごみは避ける、咳をしている人から遠ざかる
- やむを得ない場合は、マスクを使用する



▪ 冷静な対応

- メディア情報に翻弄されないこと
- 日本大使館・総領事館ホームページの更新情報をチェック
- 「知識のワクチン」によって正しい判断ができる

おわり